

## 今号のコンテンツ

- 2021 年度の事業計画
- 厚生労働省科学研究費およびプライバシーポリシー策定に関する御報告
- 第3回専門医認定試験の実施について
- 日本医学教育学会・社会医学系専門医協会合同シンポジウムの御報告
- 学術集会のご案内
- 専門医・認定医の更新の手続きについて
- 事務局からのお知らせ

## 2021 年度の事業計画

社会医学系専門医協会 理事長

今中 雄一

業務担当理事・企画調整委員会委員長

小橋 元

業務執行理事（広報・総務担当）

和田 裕雄

9月20日に理事会があり、第四期（2021(令和3年)年7月1日～2022(令和4年)年6月30日）年度の事業計画が承認されました。事業計画の概要として項目を紹介します。

1. 社会医学系の専門医、指導医の育成と生涯学習に関する事業
  - 1) 指導医講習会の開催
  - 2) 統括責任者連絡会議の開催
  - 3) 基本プログラム講習会の開催
  - 4) eラーニングの活用と運営
  - 5) 更新研修会の開催（更新研修会＝専門医・指導医が貯めるための研修会）
2. 社会医学系専門医、指導医の認定に関する事業
  - 1) 専門医・指導医認定委員会の開催
  - 2) 専門医・指導医の認定・登録、認定証の交付
  - 3) 専門医認定試験の実施と運営
  - 4) 専門医・指導医資格更新基準の理解の普及
  - 5) 専門医、指導医の追加認定基準に関する検討と制度化
  - 6) 専門医制度の法制化を目指した活動

## 3. 専門研修プログラムと研修施設の認定に関する事業

- 1) 研修プログラム認定委員会の開催
- 2) 研修プログラムの登録申請受付、認定、登録
- 3) 全国の研修プログラムの質管理
- 4) 基本プログラム相当の講義等の新規認定、維持・更新

## 4. 社会医学系専門医制度の評価と発展に関する事業

- 1) 企画調整委員会の開催
- 2) 広報の検討
- 3) 連携の検討
- 4) 社会医学系の医師人材の確保・育成の促進
- 5) 社会医学系専門医・指導医に関するデータおよびそれを用いた研究について  
プライバシーポリシーの策定（審議用資料あり）  
上記の厚生労働省科学研究費による調査を行う予定。（倫理委員会提出書類を作成中）
- 6) その他、当制度のレビューと維持・発展に関する検討

## 5. 社会医学系専門医の普及及び啓発に関する事業

- 1) ニュースレターの発行（年4回予定）、専門医・指導医の取得・更新に関する単位の情報載せる
- 2) メルマガの配信（専攻医・専門医・指導医あてに重要なお知らせ、適時）
- 3) ホームページの更新（随時）  
各会員が各自の会員情報にアクセスできるようにする。  
※会員専用ページは現在協会ホームページ内への掲載・パスワード通知の準備中です。  
広報のページを作成する。厚労科研「公衆衛生分野等の社会医学分野に従事する医師の育成・確保に向けた研究」（2019-2020年度、研究代表 磯博康先生）で作成したコンテンツを載せる
- 4) 上記の他、広報に関する事項
- 5) 当協会の役割についての更なる検討  
一般の人々も含めた公衆衛生の普及、社会医学系の医師の確保の推進などの当協会の役割についてもさらに検討していく

## 6. 法人運営のための事業

- 1) 定時社員総会の開催
- 2) 理事会の開催
- 3) 業務執行理事会の開催
- 4) 事務局業務の効率化について

## 厚生労働省科学研究費およびプライバシーポリシー策定に関する御報告

幹事 亀田 義人

(千葉大学医学部附属病院病院経営管理学研究センター)

これまで平成 31～令和 2 年度にかけ厚生労働省科学研究費「公衆衛生等の社会医学系分野で活躍する医師の育成・確保に向けた研究（研究代表者：磯博康）」を実施してきました。成果の動画等は協会ホームページの「[情報発信](#)」の項目にまとめられています。令和 3 年度以降、同研究班を「シームレスな垂直・水平統合を指向した社会医学系領域の医師のキャリアとコンピテンシーの確立（研究代表者：和田裕雄）」として継続実施していくこととなりました。従前の取組みに加え、今後これまでのコンテンツの周知および効果的な活用方法の策定や専門領域間のシームレスな関係構築に関する検討をしていく計画となっています。この中で一部社会医学系専門医・指導医等に向けたアンケート調査等の実施も検討しています。調査にあたって、個人情報保護について昨今めまぐるしく制度変更がされている中で、今後研究班や構成学会等がコンプライアンスに則って情報を扱うために、当協会のプライバシーポリシーを設けることとなりました。

プライバシーポリシーは個人情報保護法を根拠にもつので、その内容を同法の条文内容、特に第 4 章に規定される個人情報取扱事業者の義務に即したものとしました。当協会と研究班は別主体であると厳密に捉え、個人情報の共同利用の枠組み（同法第 23 条第 5 項第 3 号）に則り、①共同利用する旨、②利用される個人情報の項目、③共同して利用する者の範囲、④利用目的⑤当該個人情報の管理について責任を有する者（団体）の名称などを明示することとしました。また、個人情報の保管期限も社会医学系専門医・指導医の登録・更新から次の更新日の翌年度末までと定め、適切に管理していくこととしました。現在、公開に向けて調整をしているところです。

当協会がプライバシーポリシーに則って研究班に共同利用という枠組みで必要なデータを共有するほか、利用主体である研究班が適切に個人情報を扱うよう、研究班から倫理審査委員会に諮ることも予定しています。

今後ともお預かりしている個人情報をプライバシーポリシーの下に適切に利活用し、社会医学系専門医・指導医等の皆様の声を聴きながらよりよい制度となるように務めていきたいと思えます。

### 第 3 回専門医認定試験の実施について

認定委員会会長 前田光哉（神奈川県）

試験分科会長 大神 明（産業医科大学）

去る 9 月 12 日に第 3 回社会医学系専門医試験が行われました。前回同様に Web 方式で実施でした。受験者は 45 名でした。出願者は 46 名（当日 Web にアクセスできなかった 1 名は欠席扱い）でした。受験者 45 名のうち、主分野が行政・地域の者は 17 名、産業・環境の者は 22 名、医療の者は 6 名でした。

試験内容は、昨年と同様に Web 上での筆記試験（1 時間）、面接試験（10 分）、グループワーク（1 グループ 7～8 名 1 時間）の三部構成でした。グループワークの課題は、「コロナ感染症における社会医学系

専門医の連携と役割」でした。

試験終了後直ちに合否判定委員会が開催されました。専門医認定試験実施要項において、「合否判定は、筆記試験の点数と面接試験、グループワークの点数を総合して判定する。」とされていることから、合否判定委員会での審議の結果、面接試験、グループワークの成績を踏まえて合否を判定しました。合否判定結果は、合格 43 名、不合格 2 名でした。

今回も前回同様にウェブによる試験となったわけですが、筆記試験については、6 名の試験官による監督の結果、不正が疑われる事例は認められませんでした。

次回 2022 年の第 4 回専門医認定試験の開催方式については、昨年と今年は全面 Web 形式でしたが、コロナ禍の状況次第では変更することも考えられます。また、受験者数については、コロナ禍の影響もあり昨年、今年は想定よりも受験者数が少なかったため、来年は受験規模が拡大する可能性もあり、こちらも継続審議する必要があります。

Web 形式で実施したことで見えてきた課題ですが、今回、試験当日前の 9 月 10 日（金）まで 2 回の試験オリエンテーションを企画し、接続環境などを確認するように企画しておりましたが、46 名の出願者のうち、CBT ソリューションズ社の試行サイトにアクセスが成功し、本番での試験環境が確認できた受験生は 44 名でした。試験当日までに 2 名が未確認の状態でした。ウェブでの開催にあたっては、こうした事前の接続確認をいかに確実に遂行するかが課題だと思われました。

## 日本医学教育学会・社会医学系専門医協会合同シンポジウムのご報告

業務執行理事（広報・総務担当）

和田 裕雄

（順天堂大学医学部公衆衛生学講座）

シンポジウムについてご報告致します。

第 53 回日本医学教育学会大会（2021 年 7 月 30 日（金）・31 日（土））において、合同シンポジウムを以下の通り開催致しました。

シンポジウム：社会医学系専門医のキャリア形成と医学教育

日時：2021 年 7 月 30 日（金）10:30~12:30

座長：小西 靖彦 先生（京都大学・日本医学教育学会 理事長）

磯 博康 先生（大阪大学・日本公衆衛生学会理事長）

シンポジスト：

1. 永井 良三 先生（自治医科大学 学長・第 53 回日本医学教育学会大会長）

「社会医学を学ぶ重要性」

2. 佐々木 昌弘 先生（厚生労働省 厚生科学課長）

「政府の立場から社会医学系専門医のキャリア形成と医学教育に期待すること」

3. 内田 勝彦 先生（大分県東部保健所長・全国保健所長会会長）

「行政・保健所に向けたキャリア形成と医学教育」

4. 錦織 宏 先生 (名古屋大学)

「行動科学、社会科学、そして医学教育学」

5. 和田 裕雄 先生 (順天堂大学)

「シームレスな垂直・水平統合を志向した社会医学系領域の医師のキャリアとコンピテンシーの確立」

6. 今中 雄一 先生 (京都大学・社会医学系専門医協会理事長)

「全医師に必要な社会医学的素養：医師育成における展開と社会医学系専門医」

本合同シンポジウムは、社会医学系専門医協会「社会医学系専門医制度の評価と発展に関する事業」および厚生労働省科学研究費「公衆衛生等の社会医学系分野で活躍する医師の育成・確保に向けた研究(研究代表者：磯博康)」および同継続課題の活動一環として実施された。日本医学教育学会からは、座長の小西靖彦先生(京都大学教授・同学会理事長)、永井良三先生(自治医科大学学長・本大会会長)、錦織宏先生(名古屋大学教授)が参加された。あいにく、オンライン開催となったが、シンポジウム前半に、各シンポジストより上記のテーマで御発表頂き、その後、総合討論を行った。総合討論では、活発な議論が行われた。興味深いことに、日本医学教育学会の先生方の問題意識と我々の問題意識とが、多くの場合に重なることが明らかとなり、医学教育と社会医学の両領域が共同作業を行うことにより相乗効果がある、という確信を得た。本合同シンポジウムは、他の領域との交流を目指す新たな試みで、非常に刺激のかつ社会医学系専門医の存在を周知すると同時に、その内容の充実化にも役立つとの感触が得られた。

## 学術集会のご案内

### 第59回日本医療・病院管理学会学術総会

社会医学系専門医制度の構成団体の一つである日本医療・病院管理学会では、来る10月29-31日の予定で第59回学術総会を全面的なWEBで開催いたします。また、会期後の2週間(11月15日まで)は全ての講演等がオンデマンド配信され、学会員以外の方でも会員と同額の参加料で多彩なプログラムを視聴できます。

社会医学系専門医・指導医の更新に必要な「共通講習・K単位(必須)」については、「医療倫理」2講演、「医療安全」2講演、「感染対策」3講演、と複数用意して、できるだけ関心のある方のプログラムを選択して視聴できるようにしました。また、多くのプログラムが「共通講習・K単位(選択)」として認められていて、今回の学術総会で合計7単位まで更新申請のための単位を取得できます。

それ以外にも、社会医学系の皆様の関心の高いプログラムが多数用意されています。

例えば、コロナ禍への対応を、検疫所、保健所、病院、訪問診療の各セクターが議論したり、ケースメソッド法でコロナ患者への対応に苦闘した病院の事例を取り上げたりしています。そのほかにも「医療経済」や「医療政策」、さらには「医学と医療を哲学する」など、そして看護職のほか「病院建築・設備」を含めた多彩な専門家が集い議論し合う学会です。

参加登録は、10月15日までならば「事前登録」で参加費は7000円、それ以降10月28日までは「直前登録」10000円、「当日登録」は12000円です。

詳しくは下記のURLにアクセスしてください。皆様のご参加をお待ちしています。

第59回日本医療・病院管理学会学術総会  
 会長 寺崎 仁（東京女子医大・教授）

<https://procomu.jp/jsha2021/index.html>

## 第80回日本公衆衛生学会総会



社会の組織的取り組みと  
 協働で人々の健康をまもる

第80回 The 80th Annual Meeting of Japanese Society of Public Health  
**日本公衆衛生学会総会**

会期 **2021年12月21日(火)~23日(木)**

会場 京王プラザホテル (12/21~22)  
 東京大学伊藤国際学術研究センター (12/23)

学会長 小林 廉毅 (東京大学 大学院医学系研究科 公衆衛生学)

<https://www.c-linkage.co.jp/jsph80/>

株式会社コンベンションリンクージ内  
 TEL:03-3263-8688 FAX:03-3263-8693 E-mail:jsph80@c-linkage.co.jp

テーマ：社会の組織的取り組みと協働で人々の健康をまもる

会期：2021年12月21日(火)~23日(木)

学会長：小林 廉毅（東京大学 大学院医学系研究科 公衆衛生学）

開催形式：ハイブリッド（現地開催+オンデマンド配信）形式

※ライブ配信は予定しておりません

会場：12/21・22 京王プラザホテル

〒160-8330 東京都新宿区西新宿 2-2-1

12/23 東京大学伊藤国際学術研究センター

〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1

運営事務局：株式会社コンベンションリンクージ内

〒102-0075 東京都千代田区三番町 2

TEL: 03-3263-8688 FAX: 03-3263-8693

E-mail: [jsph80@c-linkage.co.jp](mailto:jsph80@c-linkage.co.jp)

第32回日本疫学会学会総会



The 32nd Annual Scientific Meeting of the Japan Epidemiological Association

JEА 第32回 日本疫学会 学術総会

テーマ：社会と疫学

会期 2022年1月26日(水)～28日(金)

会場 東京ベイ舞浜ホテルファーストリゾート／ハイブリッド開催 (予定)

会長 近藤 克則 (千葉大学 予防医学センター 社会予防医学研究部門 教授 / 国立長寿医療研究センター 老年学・社会科学研究センター 老年学評価研究部 部長)

演題募集期間 2021年8月20日(金)～9月30日(木)

参加登録期間 【一次受付期間】～2022年1月12日(水) 【二次受付期間】2022年1月13日(木)～3月9日(水)

テーマ：社会と疫学

会 期：2022年1月26日(水)～28日(金)

会 長：近藤 克則 (千葉大学 予防医学センター 社会予防医学研究部門 教授 / 国立長寿医療研究センター 老年学・社会科学研究センター 老年学評価研究部 部長)

会 場：東京ベイ舞浜ホテルファーストリゾート および オンライン (予定)

東京ベイ舞浜ホテルファーストリゾート

〒279-0031 千葉県浦安市舞浜 1-6

第32回日本疫学会学術総会 運営事務局

株式会社プロコムインターナショナル

〒135-0063 東京都江東区有明 3-6-11 TFT ビル東館 9階

TEL : 03-5520-8822 FAX : 03-5520-8820

E-mail : jea32@procom-i.jp

【専門医・指導医の更新手続きについて】

社会医学系専門医・指導医の更新について(R3概要)

【専門医・指導医共通事項】

- ① 社会医学系専門医協会構成8学会のいずれかに加入し、学会員を継続
- ② 社会医学系専門医協会の年間登録料を5年間、中断なく納めている
- ③ 社会医学系活動を5年間継続している(常勤・非常勤を問わない)
- ④ 社会医学系分野での活動実績が5年間に2項目で申告の記載がある

<社会医学系分野(6分野)>

(1)教育・研究活動 (2)産業保健活動 (3)行政関連活動 (4)医療管理関連活動 (5)災害時・健康危機管理対応 (6)社会医学系専門医制度における専攻医の専門研修及び制度発展に係る実績

- ⑤ 更新単位(K単位10単位、G単位10単位)を受講証明書等で確認

<K単位(講習の受講)>

○必須3単位:「医療倫理」「感染対策」「医療安全」  
→eラーニング履修可

<G単位(学会・団体活動の実績等)>

○協会の構成学会の年次総会や構成団体の研究協議会等に5年間で3回以上の参加が必須。  
○うち、鍵となる学会の年次総会には2回以上(=4単位以上)参加必須

【現指導医】

<指導医の更新>

○指導医講習会2回以上(=K2単位以上)の参加

※専門医のみになる場合は追加事項無し

【現専門医】

<指導医も申請>

○基本プログラム(7科目×7時間)49時間を受講(※1)  
○指導医講習会2回以上(=K2単位以上)の参加  
○協会構成学会での発表等(※2)

※1 専門医取得時に受講済の場合は不要  
※2 協会構成学会の年次総会での発表歴(口演で筆頭のみ)、ポスター発表(筆頭のみ)、座長、シンポジスト(発表者のみ)、教育講演の演者など、または論文掲載(筆頭のみ)

<専門医のみの更新>

○基本プログラム49時間を受講(※1)

単位の取得について

<K単位(講習の受講)>

○必須3単位:「医療倫理」「感染対策」「医療安全」  
→eラーニング履修可  
○【指導医を申請(新規・更新)する場合】  
指導医講習会2回以上(=2単位以上)参加必須

協会加盟の学会及び団体が指定する研修会、講習会、セミナー、年次総会時の教育講演等の受講を通じて、左記必須単位以外で  
○ 指導医申請者は 5単位以上  
○ 専門医更新者は 7単位以上  
取得するよう計画すること。

<G単位(学会・団体活動の実績等)>

○協会の構成学会の年次総会や構成団体の研究協議会等に5年間で3回以上の参加が必須。  
○鍵となる学会の年次総会には2回以上(=4単位以上)参加必須

必須要件を満たす時点で、最低5単位取得できることとなるので、それ以外で5単位以上取得するよう計画すること。(単位は左下の表を参考のこと)

※鍵学会年次総会に毎年参加していれば、G単位は十分取得できることに留意

	学会・団体活動等の内容	付与単位
学術集会等への参加 (5年間で3回以上)	構成学会年次総会への参加	鍵学会(2回以上) 2単位/年 鍵でない学会 1単位/回
	構成学会の地方会への参加	0.5単位/回
	構成団体の研究協議会等への参加	1単位/回
	構成団体の研究協議会地方会への参加	0.5単位/回
構成学会年次総会での役割	特別講演・教育講演等	1単位/回
	シンポジスト・座長	1単位/回
	一般演題(筆頭演者)	1単位/回
論文	一般演題(共同演者)	0.5単位/回
	構成学会における筆頭著者	3単位/件
	構成学会における共同著者	1単位/件
	上記以外の社会医学系論文筆頭著者	1単位/件
学会や団体の役員、委員会委員等	上記以外の社会医学系論文共同著者	0.5単位/件
	学会や団体の役員、委員会委員等	1単位/年
行政機関関係	審議会、検討会等の委員等	2単位/年
	会議等への説明担当等の役割を有する参加	1単位/回

構成学会 (8学会)	構成団体 (6団体)
・日本衛生学会	・全国衛生部長会
・日本産業衛生学会	・全国保健所長会
・日本公衆衛生学会	・地方衛生研究所全国協議会
・日本医療・病院管理学会	・全国機関衛生学公衆衛生学協議会
・日本医療情報学会	・日本医師会
・日本疫学会	・日本医学会連合
・日本災害医学会	
・日本職業・災害医学会	



## 学術集会開催情報等（2021.10.22 時点）

構成学会	次回 年次総会	開催地	大会 HP	次々回 年次総会（参考）	開催地
日本医療・病院管理学会	2021/10/29～31	WEB	<a href="https://procomu.jp/jsha2021/">https://procomu.jp/jsha2021/</a>	2022/9/16-18	岡山市
日本医療情報学会	2021/11/18～21	名古屋市	<a href="http://jcmi41.org/">http://jcmi41.org/</a>	2022/11/17～20	札幌市
日本職業・災害医学会	2021/11/27～28	WEB	<a href="https://procomu.jp/jsomt2021/index.html">https://procomu.jp/jsomt2021/index.html</a>	2022/11/5～6	松本市
日本産業衛生学会全国協議会	2021/12/3～5	津市	<a href="https://procomu.jp/sanei-zenkoku2021/index.html">https://procomu.jp/sanei-zenkoku2021/index.html</a>	2022/9/29～10/1	札幌市
日本公衆衛生学会	2021/12/21～12/23	東京都内	<a href="https://www.c-linkage.co.jp/jsph80/">https://www.c-linkage.co.jp/jsph80/</a>	2022/10/7-9	甲府市
日本疫学会	2022/1/26～28	浦安市&WEB	<a href="https://procomu.jp/jea2022/index.html">https://procomu.jp/jea2022/index.html</a>	2023/2/1～3	浜松市
日本災害医学会	2022/3/3～5	広島市	<a href="https://site2.convention.co.jp/27jadm/">https://site2.convention.co.jp/27jadm/</a>	2023/3/9～11	盛岡市
日本衛生学会	2022/3/21～23	西宮市	<a href="https://procomu.jp/ish2022/">https://procomu.jp/ish2022/</a>	2023/3 上旬予定	東京都
日本産業衛生学会	2022/5/25～28	高知市	<a href="https://convention.jtbcom.co.jp/sanei94/">https://convention.jtbcom.co.jp/sanei94/</a>	近日中 更新予定	

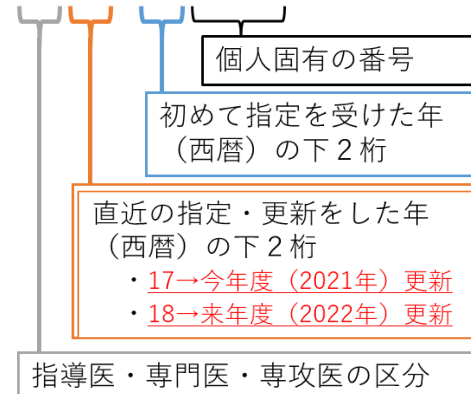
## 【更新が間近な方へ】

番号に基づいて、更新が間近な方は、まず、更新までに「鍵学会の年次総会」に2回参加することができるか、確認をしてください。

- 2回参加できる→予定を確実に確保することをおすすめします。
- 2回参加できない→今年度の更新では「1年延長」が認められていますので、延長の手続きをとり、鍵学会への参加等を着実に進めてください。

## 【要確認】 専門医・指導医番号について

指18-18XXXX



## 事務局からのお知らせ

社会医学系専門医協会事務局からのお知らせ

## 【専門医・指導医更新のよくあるご質問を下記に掲載いたしました】

☆更新申請書類、更新延長届の提出はいずれも11月30日（火）迄受付です

<http://shakai-senmon-i.umin.jp/wordpress/wp-content/uploads/koushinqanda0716.pdf>

**【登録情報の変更、請求書再送、領収書発行のご依頼について】**

所属先のご異動・お住いのお引越し・メールアドレスの変更等がございましたら、社会医学系専門医協会事務局まで登録内容変更届をご提出ください。

※登録事項変更届のダウンロードは下記 URL から

<http://shakai-senmon-i.umin.jp/news/1231/>

年間登録料請求書の再発行、領収書の発行をご希望の際は下記お知らせ記事の下部よりサンプル EXCEL をダウンロードの上、返信用封筒を同封の上、ご依頼ください。

<http://shakai-senmon-i.umin.jp/news/1879/>

**【変更届送付先・請求書、領収書発行依頼先】**

社会医学系専門医協会 事務局

E-mail : [jbphsm@asas-mail.jp](mailto:jbphsm@asas-mail.jp)

FAX : 03-5981-6012